

全買連ニュースレター 第3号

ZENBAIREN News Letter

2017/5/18

全国の活動より

— 大学生に木育授業 —

大阪木材仲買協同組合が平成28年度より実施している建築学科の学生向け「木育授業」を紹介します。

前年度は武庫川女子大学と鹿児島大学（フィンランドのアルト大学と合同）の学生さんを対象に実施しました。内容は、当組合員さんから「伝統的建築物の改修について」の授業、具体的には戦前に建てられた木造建築は開放的な間取りや風通しの良さが特徴の伝統的工法が採用されていることと、在来工法との耐震性の違いについての説明を行いました。

続いて、(株)竹中工務店・白波瀬氏から仲買会館の建築設計について」の説明および館内見学を行いました。当日実施したアンケートによると、木材の性質や木造建築の耐震対策などへの理解が深まり、木材の活用方法が伝わった旨の感想が寄せられていました。

今回の授業を通じて、一人でも多くの学生が木造建築に関する感性を磨き、見識を深めるきっかけとして、将来建築において消費者に効果的な木材利用を提案いただけることを期待しています。



国産材利用推進の取組み

— 森林づくり・木づかいプラットフォームの設置 —

林野庁と経済産業省が連携して、幅広い分野の事業者が森づくりや木づかいの取組みへの理解を深め、木材製品の利活用の取組みを創出する場として「森林づくり・木づかいプラットフォーム」が設置されました。

第1回は、6月9日に農林水産省講堂で開催されます。今後、年に数回程度の講演や事例紹介等が行われる予定です。

全買連の動き

— 28年度第4回理事会開催報告 —

この理事会は、大阪木材仲買開館において主に29年度事業計画・収支予算（案）が審議され、第48回総会に向けて役員補選などの議案整理がなされました。



理事会審議状況



大阪木材仲買会館

—29年度第1回全買連理事会開催報告—

平成29年度全買連理事会がKKRホテル名古屋で開催されました。

この理事会に先立ち監査会行われ、適正処理がなされている旨報告されました。

主な議事は、28年度事業・決算報告賦課金、定款改正、役員補選など第48回総会付議事項が審議され了承されました。

—第48回全買連通常総会の開催—

第48回通常総会は、愛知県木材買方協同組合の絶大なご協力を得て5月26日(金)14時30分からウェスティンナゴヤキャッスルホテルで開催されます。総会前には、本丸御殿の観覧会も予定されています。

街角木材利用



木造にリニューアルした東急電鉄池上線「戸越銀座駅」の駅舎とホーム

「平成27年度東京都森林・林業再生基盤づくり交付金事業」の採択を受け多摩産材 120m³が使われ2016年12月に完成しました。地域や沿線の人々に愛される「地域の顔」としての役割が期待されています。

編集後記

いよいよ全買連総会の開催が迫ってきました。愛知の事務局長に助けられながら進めています。初めての経験で不手際もあるかと思いますがよろしくお願いします。

下の写真は、チャンチンの芽吹きです。ピンク色の新葉を展開してだんだん緑になっていきます。成長が早い樹木なので大切な新葉を紫外線から守る日焼け止めクリームのような役割をするアントシアニンの色です。最近チャンチンモドキやセンダンなどが家具材やバイオマス材として早成有用広葉樹が脚光を浴びているようです。

もう一つの写真は、最近まで盛りだったエゴノキの花です。白い美しい花で Japanese snow bell とも呼ばれています。香りは今ひとつですが愛らしい花です

